

公共工事の評価点を得ようと、県外産間伐材を県産材と偽る違法な工事がまかり通り、設計書通りに工事を行う業者が評価されないようでは本末転倒。公共工事が大幅に削減される中、品質、安全の管理と高度な技術、安定した経営に裏打ちされた優れた業者が、時代の波を乗り切るシステムづくりが求められる。



杉田組が福井県優良工事表彰を受賞した平成19年度奥越農林総合事務所発注の復旧治山工事（大野市宝慶寺地係）（写真）

県産間伐材を活用した工事というが、県外産材を使用…？

不可思議な県発注 土木工事の競争入札

美山森林組合が 産地偽装？

平成20年7月、大野市の杉田組が福井県優良工事表彰を受賞した。平成19年度奥越農林総合事務所発注の復旧治山工事（大野市宝慶寺地係）によるものである。この工事について投書が寄せられた。当工事は設計図書に県産の間伐材を使用する事と指示されているが、現物は県外産（三重県方面）の間伐材も使用し、設計図書の指示を無視して工事を完了したと聞いた。

美山の森林組合に注文したが、数量が多いため材料がないと言われ、紹介された県外の間伐材を使用したらしいが、林業事務所はこれを承諾したのか？福井県内には森林組合は多くある。1組合から注文数量が納入できなくても他の森林組合から出来るだけ注文すれば設計数量に達したので

はないか。これらのことを考えると設計図書指示を無視して工事を完成し、優良工事表彰を授与したことを大変疑問に思う。何の為の設計図書の指示事項か？

また、奥越農林総合事務所は県産の材料がないのに「使用する」と指示するのかが検査の時、県産の材料を使用しているかを調べはしないのか。設計図書に明記されている材料を使用せず無視して施工し、外観さえ良ければ優良工事表彰が受賞できるのか。業者の人から聞くところによれば、現在は点数がよければ入札に参加でき、他の点数を総合して最低価格入札業者より点数がよければ落札できると聞いた。

優良工事表彰を受賞すると点数が加算されると聞いたが、この様な大きなことが含まれているのに設計図書通り施工しない業者を表彰するのは、完成検査とは何か。表彰選

定の基準はどの様になっただけなのか。他にも疑問だらけ。再度調査し、不当だと明らかになったら授与を取り消すべきだ。また業者にもそれ相当の処罰を与えるべきだと思うとの内容だ。

優良工事表彰の 意義とは…？

福井県優良工事等事業者表彰とは、福井県が発注する工事の施工および設計の業務について優秀な成績を取めた事業者を顕彰し、その功績に報いるとともに建設技術の向上と事業者の育成を図ることを目的として優秀賞、優良賞、

特別賞を選定して毎年度7月実施している。

表彰対象者は、①1件の工事請負額が2000万円以上または1件の設計業務の委託費が500万円以上で総評点が80点以上であること。②主たる工事を元請者が施工した工事で、かつ、下請率が50%未満であること。③設計においては、主たる業務を受託者が設計した業務であること。④主たる営業所が県内にある事業者であること。⑤前年度における工事等の総評点がいずれも70点以上の事業者であること。⑥前年度に指名停止、口頭や文書による注意・警告のない事業所であること。⑦

社会的信用のある事業者であること。

以上の①から③までのすべてに該当する工事を施工または設計した事業者で、かつ④から⑦までのすべてに該当しなければならぬ。

事業者は表彰対象者に該当するときに、優良工事等申請書に資料（優良工事説明書、全景写真と動画等）を添えて発注機関の長に表彰の申し出をすることが出来る。

表彰は、申請のあった工事等について工事検査課職員による書類審査を行い、選考委員会の選考を経て知事が決定する。選考委員会は、学識経験者、専門技術者および行政関係者とし、委員会は審査基準に基づき選考する。

表彰の対象となった優良工事等において、当該工事等に係る補修または損害賠償が実施された時、または法令違反等により処分を受けた時は当該工事に係る事業者に対す

る表彰を取り消すなど、表彰要綱として制定されている。

平成19年度復旧治山工事（小葉谷）工事地係／大野市宝慶寺において砂防治山工事を行った杉田組は、20年度優良工事事業者表彰農林水産部長賞を受賞した。

農林水産部県産活用課では、県営土木工事における県産材木使用事例の一つに杉田組が請け負った大野市宝慶寺地係、大野・池田線1工区の完工写真を掲載。丸太伏工と呼ばれる工法でその特徴や施工方法を標準図などを紹介している。

杉田組が美山森林組合から仕入れた間伐材に県外産が多く混ざっていたのでは、県産材使用が落札条件であれば契約違反。これでは、公共工事に県産間伐材の活用を積極的に進める意味がない。工事検査課は早急に検査を実施し真偽を確かめ、指示書に違反していた場合は、速やかな処分を行う必要がある。

（砂防治山）
平成19年度復旧治山工事（小葉谷）
株式会社 杉田組
代表取締役 杉田悦蔵
大野 電話
F A
農林水産部長賞
（工事地係）（大野市宝慶寺）
治山工事に際し、種々型枠の移入など、丸太伏工、間伐材丸太で大きな荷物を運ぶなど、丸太の加工を行う等、苦闘を克服し完成した。

不可思議な県発注土木工事の競争入札

入札執行日	22. 5. 25	入札決定日	22. 5. 31	
通常砂防事業	その2工事	入札方式	一般競走入札	
工事場所	大野市東大門	工事種別	土木一式工事	
最低制限価格	37,412,190円	落札方式	総合評価	
入札業者	入札金額	評価点	評価値	結果
㈱杉田組	37,510,000円	113.5	302.586	落札
㈱高茂組	37,447,000円	112.9	301.493	
㈱宮崎工務店	37,550,000円	113.2	301.465	
㈱高岡工務店	37,580,000円	110.9	295.104	
㈱山内建設	37,910,000円	110.8	292.271	
井尾建設㈱	38,030,000円	110.6	290.823	
㈱宮田組	38,170,000円			
㈱土本組	42,700,000円			
㈱建世	44,000,000円			
㈱高村組	37,180,000円			失格
㈱桐林組	37,350,000円			失格

杉田組が20年度に受賞した優良工事表彰が、県外産間伐材を使用しているも他業者に比べポイントが高く評価されたのか、実情は分からない。

優良工事表彰欲しさに業者と県職員との癒着や県幹部、県議らの働きかけが当然あつてはならない。公共工事の削減や落札率の

入札執行日	22. 5. 25	入札決定日	22. 5. 31	
復旧治山工事(火山)		入札方式	一般競走入札	
工事場所	大野市上打波	工事種別	土木一式工事	
最低制限価格	31,574,667円	落札方式	総合評価	
入札業者	入札金額	評価点	評価値	結果
㈱杉田組	31,951,000円	115.0	359.926	落札
井尾建設㈱	31,840,000円	111.1	348.932	
㈱山内建設	31,830,000円	110.8	348.099	
久司建設㈱	32,100,000円	111.3	346.729	
㈱宮田組	32,250,000円	111.8	346.667	
西尾建設工業㈱	35,500,000円			
㈱建世	37,000,000円			
㈱高岡工務店	30,949,000円			失格
㈱高茂組	31,288,000円			失格
㈱宮崎工務店	31,450,000円			失格

低下など土木建設業者は厳しい状況にあり、倒産の憂き目にあう業者も数多い。総合落札評価方式は老舗も新参も関係なしという良い面もあるが、

真に施工、安全、品質管理および経営が優れた業者が淘汰できれば県内土木建設業者に明日はない。文責…嵯峨 十郎

高くても落札入札の意味なし

県では、昨年4月から工事が適正に行われているかを確認するため契約額2000万円以上の建設工事についておおよそ100件程度を、検査日を通知せず実施するようになっているが、県産間伐材から県外産材か「見た目は分からない」では許されない。

今年5月25日、奥越土木事務所発注の通常砂防事業工事2件と、奥越農林総合事務所発注の復旧治山工事1件の入札があった。5月27日の建設工業新聞には、それぞれ高茂組、山内建設が最低価格で応札し落札候補者として掲載されたが、落札が決定したのは3件全て杉田組であった。

奥越土木発注工事の入札では、最低価格よりその1工事Ⅱ6万3000円、その2工事Ⅱ8万円。奥越農林総合事務所発注工事の入札では、1万1000円高かったが、最低価格入札業者より評価点、評価値がともに上回ったためだった。

その1工事に入札した業者の最高評価点と最低評価点の差は、わずか2・9点。評価値の差は、9・940。この差はどれほどの意味があるのか。評価点と最低制限価格は入札時点では公表されず、これでは不正の温床にもなる。

総合落札評価方式の導入後、加算点によって最低落札業者以外の業者が落札する逆転現象が起きています。

県奥越土木事務所

▼5月26日決定

◎通常砂防事業(社会資本整備総合交付金)その1工事 大滝谷川 大野市東大門
設計価格=47,255,000円
落札候補者 高茂組

◎通常砂防事業(社会資本整備総合交付金)その2工事 大滝谷川 大野市東大門
設計価格=45,007,000円
落札候補者 高茂組

◎平成22年度復旧治山工事(火山) 大野市上打波(風本流)
設計価格=37,910,000円
落札候補者 山内建設

平成22年5月27日付
建設工業新聞「入札情報」

入札執行日	22. 5. 25	入札決定日	22. 5. 31	
通常砂防事業	その1工事	入札方式	一般競走入札	
工事場所	大野市東大門	工事種別	土木一式工事	
最低制限価格	39,347,676円	落札方式	総合評価	
入札業者	入札金額	評価点	評価値	結果
㈱杉田組	39,430,000円	113.5	287.852	落札
㈱高茂組	39,350,000円	112.9	286.912	
㈱宮崎工務店	39,500,000円	113.2	286.582	
㈱建世	39,700,000円	113.5	285.894	
井尾建設㈱	39,360,000円	110.6	280.996	
㈱高岡工務店	39,530,000円	110.9	280.546	
㈱山内建設	39,840,000円	110.8	278.112	
㈱宮田組	40,140,000円			
西尾建設工業㈱	42,500,000円			
㈱土本組	44,800,000円			
㈱高村組	39,200,000円			失格
㈱桐林組	39,300,000円			失格

評価点は標準点+企業の技術力、配置予定技術者の技術力が加算される。特に過去2

年間の工事成績評価点が80点以上未滿かで点数の差が大きい。優良工事表彰受賞のありなしも、評価を大きく左右するポイントとなっている。